

山行番 NO. 1535
日時 2013.02.17(日) 晴(下部無風・上部強風)
山域 八ヶ岳・西天狗岳(2646m)
標高差 上り 渋ノ湯約1850m～西天狗岳2646m＝約800m
参加者 後藤、村山、小松、勝又陽、浜道＝5名



一昨日の雪が多い



黒百合ヒュッテ



厳しい上り

1. 渋ノ湯発 7:10

この時期、早朝発は厳しいので前日茅野市の「わかみず旅館」に泊まった。(3000-+朝食500-)
宿発5:30。この朝、茅野市の気温は-16℃だった。地元の人でも例年と違う寒さと雪の多さだそうだ。
西天狗岳は北八ヶ岳の最高峰で日本二百名山のひとつ。天候が安定すれば冬山登山初級ルートらしい。しかし、アイゼン、ピッケルは必須。渋の湯では厳寒、無風だ。山頂は風がなければ最高と思いながら出発。

2. 黒百合ヒュッテ 9:00

リーダーが心配していた一昨日の雪の後のトレース。しっかり存在し助かった。硫黄くさい渋の湯から川を渡り山道入口付近が急坂。気温は低い暑くなってきた。そこからは約3kmのだらだら坂を1時間50分。シラビソの樹林帯を黙々と歩く。新雪を踏む音がキュッキュッとリズムよく鳴る。アイゼンを装着しないで、標高2400mの黒百合ヒュッテまで登る。穏やかな雪の朝。冷たいが晴れたよいお天気。ここからが本番だ。アイゼン、ゴーグル装着、樹林帯が終わるので防風対策の準備。ここで万全にしないと、厳寒、暴風の中ではとても出来ない。山は何が起こるか解らない。「先を見越して行動すること」リーダーからいつも間が抜けている私への注意項目だ。





3. 東天狗岳 10:20

暫く歩くと樹林帯が切れ風を感じるようになった。西の風だ。それもだんだん強くなり、目出し帽、ヤッケの帽子をしっかり被っていないと耳が千切れそうに痛くなる。恐れていた強風だ。頂上付近は急登で岩、がれきと氷で一瞬たりとも気が抜けない。雪煙が渦を巻いている。アイゼンでしっかり踏み込みピッケルで支える。防風用の手袋も固くなり、握っている手も疲れて辛い。頂上で僅かな時間に見た景色は最高だが、すぐに下りて西天狗岳に向かう。



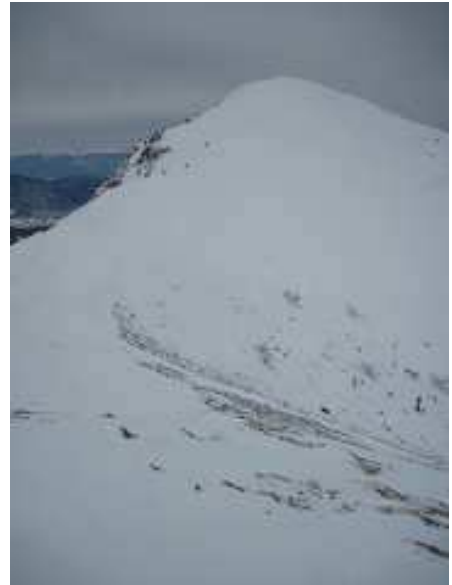
4. 西天狗岳 10:45~10:55

東天狗の西側に下ると風が少し治まってきた。風下に入ったようだ。西天狗岳の下から見上げる山頂はとても急で高く感じる。リーダーのトレースも風と新雪でフワッと判りにくくなる。角度が急だから、2、3歩先を見ながら新雪を踏みしめ登る。トレースのない所は埋もれやすい。西天狗岳からは南アルプス、八ヶ岳連峰と曇り空の中良く見える。天狗岳の気温は-16℃。影響は仲間の携帯が不能、一眼レフのバッテリーも凍る騒ぎだった。

下山



西天狗岳



バックは
西天狗岳





5. 渋ノ湯 13:20

樹林帯までの下山は細心の注意を払う。事故の大半は下山で起こる。私の課題はアイゼンで躓いたりしない事だ。疲労もあるが気を抜くと必ず転ぶ。黒百合ヒュッテに12時到着。昼食を摂り、12:15頃出発。アイゼンを外すと足が軽くなる。リーダーの速い事。靴でスキーの様に滑り下りる。真似は出来ない。何度も転びながら1時間位で下る。私は丁度1年前、暴風の蓼科山を経験している。その体験がとても生きた山行になった。やっぱり雪山は最高だ。そして、仲間と登れたことに感謝します。お疲れ様でした。



タンネの森

ザックの中で凍った紫蘇ジュース



一人誕生日祝い



無事帰還



その他の記述（L後藤）

1. 渋ノ湯の駐車料金は1日＝1000－。雪掻きに来た女将??はガーガー文句を言って、とても感じが悪かった。ちなみに駐車の場合は、先に旅館に行って、駐車料金を支払ってから駐車が手順だったさ。
2. 今年も誕生週にイイ山に上れました。
3. 頂上はマイナス16度だった。風は15mくらい。黒百合ヒュッテに下ったら、ザックの中の紫蘇ジュースが凍っていた。ザックの中で動いている液体が、凍るとは恐ろしい。こんな経験は初めて。
4. 仲間の携帯とカメラが電池低下で使えなかった。私は胸のポケットに入れてあるので全く問題がなかった。大きいカメラは考えものですね。外付け電池はないのか??!!
5. この日登山者は多かった。ただ、ピッケルなし、軽アイゼン、ズック靴の輩が何人かいた。軽装備者と物凄い立派な装備者の対比が可笑しかった。
6. 黒百合ヒュッテのトイレは立派。ただ、男性便器は何故あんなに大きい。チップ200－はちと高いと思う??だから、100－入れて来ました。
7. 雪山の下りは速い。スキーの要領でスイスイ下る。上り2時間弱の渋ノ湯～黒百合ヒュッテ間は、1時間で下った。快適な下りでした。
8. 帰路寄った「縄文の湯」は、ガンガン掛け流しの素晴らしい温泉。地元のジジ・ババも優しい。ただ、イイ気分が出て来たら、ガ・ガ・ガ～ン。アルコールが売っていません!!
9. 仕方がないので長駆、小淵沢まで下り、手打ちソバ「越前」に入った。これは正解でした。福井の銘酒「一本義」が二合、上げ底なしの徳利にこぼれそうなくらい、ナミナミ入って780－!!これには驚きました。しかも、ソバは美味しく、主人・奥さま(?)も感じが良くて嬉しかったです。これも何かのご縁でしょうか??!! (笑)

関連HP

- | | |
|-------------|---|
| 裾野麗峰山の会 | http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/ |
| 長泉さわやかハイキング | http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/ |
| 長泉ウォーキングクラブ | http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/kiroku-7.html |
| 長泉八十八巡礼会 | http://nagaizumi88jyunrei.web.fc2.com/index.html |
| 長泉富士山の会 | http://outdoor.geocities.jp/takanori_reihou2222/kiroku-6.html |

